

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 140 号 2009.12.25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

頒布会で自然のおいしさ満喫

12月20日(日)、東中野会場では今年最後の頒布会が開かれました。各生産者から旬のダイコンがたくさん届き、無施肥無農薬栽培のものは葉っぱもおいしいので、ダイコン葉を使ったいろいろなおかずの試食も出されました。ダイコン葉とシーチキンの炒め煮や、細かく刻んだダイコン葉をまぜたミートボールなど、子どもも喜んで食べそうで、とても参考になりました。他にもラッカセイや炒りゴマなど、そのおいしさ・香りよさに「感動した!」という声を聞きました。



お昼には塩むすびとお味噌汁を頂きましたが、自然米のおいしさ、お味噌汁には自然農法のダイコン・ニンジン・カボチャ・ゴボウがたっぷり具だくさんで、とてもうれしかったです。もらった試食品をおかずに行っている人もいて、自然の野菜を満喫しているな、と思いました。

毎回そうですが、今回も、おにぎりや試食を作るスタッフの、どうすれば来場者に、よりおいしく自然農法の食材を食べてもらえるかと、一生懸命調理する姿に感心させられました。これも自然農法普及の一つの大きな取り組みだと思い、一品一品味わいました。(編集部)

TOREK 活動に取り組む橋本さん

さて今回、編集部は一人の男性取材した。今年1年、生産者ではないが、人一倍熱い心で、TOREK 自然農法活動に取り組んだ橋本昭男さんだ。

聞くと、橋本さんは埼玉県S市在住だが、毎月行われる千葉の鎌ヶ谷頒布会では、スタッフとして自然農法の普及に尽力し、また千葉長柄町の山本養鶏場や、長野木島平の堀農園を何度となく訪問し、援農を行うなど、若者顔負けの行動力を発揮している。だからと言って暇というわけではない。現在、市のサッカー協会の会長という立場にあり、それに伴って地元で様々な活動をしている。また定年退職をしているが、数年前まではアパレル業界のやり手営業マンで、さすがその行動、決断力は素早い。しかし決して威張らず、控えめに、自然農法普及活動を行っている姿がまぶしかった。

堀農園に関しては、「今年も何回か行きました。除草が大変でしたね。一週間後に行くともう雑草が生えているというような状態、もっと多くの人で援農すべきだと思いました。共に行く人を誘っていきなさい。また、慣行農法の稲は、雨で倒れないための薬を使っているのに、倒れていましたが、自然農法の稲は倒れない、それを目の当たりにしました。その現実をもっと多くの人に見てもらいたいです」

山本養鶏場のお手伝いをして、「生き物を扱うのは本当に大変だと思います。山本さんの苦勞を感じます。1月に行ったときは、5才の孫も連れて行って、卵取りや大根抜きをさせたら、とても喜んでいました。子供にこういう経験をさせるのは大切だと感じました」とのこと。

鎌ヶ谷頒布会については、「来場者に生産現場で見えた様子を話したり、会場前の通行人に声をかけ、中に案内したり、また作物の検品や発送など行っています。頒布会に足を運んでくれれば、きっと自然農法の作物の良さが分かる。私もそうでした。来年からは、会場の場所も変わるので、今までのリピーターが来てくれるか心配でもあり、発送注文の充実など考える必要があるかと思っています」

今年の橋本さんを見て、こういう形での自然農法活動もあると学び、またその行動力に勇気もらった気がした。(編集部)



のどの腫れと痛み、みかんジュース!

船橋市 寺澤美知子



今年の5月中旬、のどに異変を感じましたが、最初はそれほど気にせずにご経過していました。しかし、だんだんと痛みが増してきました。のどに魚の骨でもささってしまったのかしらと思いました。

5月17日の朝、出先で友人からリンパ腺が少し腫れているわよと言われました。午後にはますます痛みがひどくなって、声が出なくなり、家に帰り着いたときには、つばも飲み込めないほどの痛みになっていました。

翌々日には、ほとんど口が開かなくなり、のどの痛みもさらにひどくなり、つばを飲み込むこともできないので、夜も眠れませんでした。首も回らなくなり、リンパ腺もパンパンに腫れ、頭、耳まで痛みが出てきてしまいました。

4日目になっても食欲はまったくなく、17日から何も口にできていません。夜になってやっとのどが渴くようになったので、何か飲もうとしましたが、痛みの恐怖感から何も飲むことができないのです。そこで、試しに市川生産グループのみかんジュースをスプーンですくい、口に入れてみたところ、なんとスムーズに飲み込むことができたのです。とてもうれしかったです。このことがきっかけで、お腹もすくようになり、まだ痛みで口はほとんど開かないのですが、自然米のおかゆをおいしく頂くことができました。そばで様子を見てくれた主人も驚くほどの回復ぶりでした。それを機にすぐ楽になって、元気を取り戻すことができました。本当に良かったです。心から生産者の方々に感謝申し上げます。

キセキのみかん、収穫!

12月12日、静岡宇佐美にて、上記の寺澤さんの体験にもある、市川生産グループの「奇跡のみかん」の収穫がありました。収量は昨年の1.6トンから1トン弱に減りましたが、味はさらに濃厚で、サイズ大きく、くずみかんが少なかったとのこと。

減収の原因は、木の老齢化と、また裏年の可能性もあるとのこと。今後は若い木を気遣い、新しい苗木も植え、スタッフでよく話し合い、次世代にこのみかんをしっかりと残していきたいとのこと。また参加者にも、将来を担う若い世代の人たちが増えていくことも期待できます。

ある10代参加者は「期末試験の直前だったけど参加して、地主さんに木の剪定を教えてもらい、やりがいがありました。みかんを喜んで食べてもらえるのがうれしいです」。20代男性は「参加して勉強になった。先輩の参加者の自然農法への熱い思いも聞いて良かった。今までたくさんの奇跡的出来事があったみかん聞き、自分にも奇跡があるかと期待しています」



スタッフからは「古い木ですけど、全力を出しきってくれたから、味も良く、大きさも良かったと思います」「このみかんを大勢の方に味わってほしい」など感想がありました。また、もし収穫日を1週間後の土日にしていたら、伊東市で起きた群発地震に遭っていたことは間違いなく、その前に収穫も主な発送も終わっていたことは、ある意味奇跡ではないかと驚きました。(編集部)



お知らせ

自然農法頒布会 1月20日(水) 鎌ヶ谷会場 11:00~(売切れ次第終了)
新会場にて開催!(問合せ 047-446-7482 発送注文も受付ます!ぜひお試しください)

無施肥無農薬栽培物の販売予定

1月1日 於:伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

きじま平自然農産:もち米、アズキ、玄米もち、赤カブの漬物、野沢菜のしょうゆ漬け、きのこめし
飯塚農園:ダイコン、ハクサイ よした農園:モチ米
長柄山自然農園:卵、シイタケ、鶏ガラ、ひき肉
中島農園:ダイコン、カブ、ジャガイモ、干し柿
ジョリフィーユ:かぼちゃのモンブラン、カスタードプリン、マドレーヌ ほか



お問い合わせ先:編集部 針貝 FAX:03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>